

平成 30 年度第 3 回三重県ユニバーサルデザインのまちづくり推進協議会議事録

- 1 開催日時 平成 30 年 11 月 22 日 10:00~12:00
- 2 開催場所 三重県合同ビル G201 会議室
- 3 出席者数 出席 11 名 欠席 4 名 傍聴者 1 名
- 4 内容 事項
 - (1) 第 4 次三重県ユニバーサルデザインのまちづくり推進計画 (2019 - 2022) 最終案について
 - (2) ヘルプマークの普及について
 - (3) その他
- 5 概要 (開会行事、事務局からの説明は省略)
協議事項
 - (1) 第 4 次三重県ユニバーサルデザインのまちづくり推進計画 (2019 - 2022) 最終案について
 - ・事務局より案について説明を行った。

【委員意見】

- ・ 「おもいやり駐車場利用証の交付者数：105,000 人」に対して「おもいやり駐車場の登録区画数：4,730 区画」の目標は、少ないと思われる。
実績の伸びを反映している。施設を増やすことと啓発による不正駐車をなくすことが重要と考えている。
- ・ 公民館などにおもいやり駐車場は設置されていないので、そこにピーアールしていく必要があるのではないか。
そのようなご意見をいただいて対応してきておりますので、今後ご意見ください。
- ・ 利用証交付者数は累計で、年にどれだけ発行してどれだけ返却されてきているのか、常に利用する方の数がどれくらいいるのかわからない。
数として掲載するのは難しいので、注釈をいれて記載します。
- ・ 区画の数について、障がい者枠以外にも臨機応変に増やしている施設もあると思うので、それが入っているのか。
臨時おもいやり駐車場などは入っていない。登録いただいた数の集計です。

【委員意見】

- ・ ノンステップバスの利用率などはわかりますか。
（委員）一日の利用者は数人程度で、利用率でいうと1%未満ということになります。
- ・ なぜ利用が少ないのか。どうしたら増えるのか。
（委員）利用率は路線によってムラがあるのでは。おそらく早くからノンステップバスの導入率が100%となっているところは、一般利用も多いのではないかと。車いすの方だけでなく、一般の方の利用を増やす必要があるのではないかと。また、ノンステップバスが走っているということもPRしていく必要があるのではないかと。高齢による免許返納者への周知も必要ではないかと。
（委員）免許返納者には減免や特別なパス等の制度があり、一日当たり約250人の方が利用されていますが、より一層PRしていきます。

【委員意見】

- ・ 2020年、2021年にパラリンピック、三重とこわか大会が開かれるので、手話通訳者や認知症サポーターなどの数の増えるタイミングなので、チャンスを逃さないように頑張ってください。数値目標にe-モニターを活用しているが、モニターアンケートなど高齢者・障がい者の方がどれくらい三重県へ来てくれているのかがわかる調査結果が欲しい。
観光部局で調査しているかもしれないが、ご意見の内容について対象にしているかは把握していない。

【委員意見】

- ・ 本県のバリアフリー、ユニバーサルデザインの記事に「日本一のバリアフリー観光県推進宣言」について記載していただけないか。
記載させていただきます。

【委員意見】

- ・ バリアフリー、ユニバーサルデザインについて勉強したいと思う方が、研修会など勉強できる機会の情報を入手できるポータルサイト的なものがあるといいのではないかと。
UDのホームページなどで何ができるのか検討してみます。

【委員意見】

- ・ 3,000人以上の駅というのはどのくらいの規模なのか
現在事業をしているところでは、桜駅、阿倉川駅でして、津駅や四日市駅などは1万人以上となっています。

【委員意見】

- ・ 県立学校のエレベーターの設置率が低くなっているのはなぜか。
古い校舎が多く設置するのが難しいということから率が低い状況である。
入学してくる情報を把握してから設置している状況で、設置率が伸びていない。
- ・ 設置には時間がかかるので、あらかじめ設置しておく必要があるのではないか。
- ・ エレベーターの有無で志望校を決める場合もあるし、保護者などが必要な場合もあると思われる。
- ・ エレベーターについては、中学校・小学校も同じ状況で、あらかじめ設置していくことも行政として必要だと感じました。

【委員意見】

- ・ 意識づくりにおいて「声をかけたいが、声をかけてよいかわからない」とよく聞かれる。なにか取り組みができないか。
(委員)声をかけられる側として「声をかけてもらって、どう断ったらよいか」で悩むときもある。
(委員)「声をかける側」「声をかけられる側」双方におもいやりの気持ちで接していく意識づくりの啓発が必要と思われる。

【委員意見】

- ・ 外国人の方への対応について考えていって欲しい。「外国人の方をみると怖い」など大人の方が反応してしまっている。住んでいる方々が対応できるようにダイバーシティ社会の実現へも啓発していって欲しい。

【委員意見】

- ・ 外国人の子どもがいるのに多言語のUDテキストが無い。タブレットで同時通訳して対応していたが、地域で助けてもらえる団体・人材がないのか。いいアイデアがあれば教えて欲しい。
(委員)地域に住んでいる外国人の方はいます。日常から関係がつくれていくかが大事。また、事前に相談いただけたら、人材を探すことは可能ですが、直前になると難しいです。
- ・ テキストだけでも翻訳していただけたら伝わると思っています。

(2) ヘルプマークの普及について

- ・ 事務局より事業の進捗状況の報告を行った。

【委員意見】

- ・ 三重県への導入は全国何番目？
22番目です。

【委員意見】

- ・ 啓発について、ポスター等をいただけたら、三重県バス協会（三重交通、三岐鉄道）のバスで掲示します。

現在大きいサイズのみですので、今後いろいろなサイズのものを作っていきますので、お願いします。